

# 富士市環境マネジメントシステム監査 報告書

令和8年1月

一般社団法人 静岡県環境資源協会



## 目 次

1. 目的.....	1
2. 実施内容.....	1
3. 実施対象.....	1
4. 日程等.....	2
5. 実施結果.....	3
(1)書類監査.....	3
(2)現地監査.....	3
①吉原第三中学校.....	4
②資産経営課.....	5
③市民安全課.....	6
④今泉小学校.....	7
⑤蓼原保育園.....	8
⑥病院総務課.....	9
⑦ふじさんめっせ.....	10
⑧丘まちづくりセンター.....	11
⑨岩松幼稚園.....	12
⑩環境総務課(富士市EMS事務局).....	13
(3)総合評価.....	15



## 1. 目的

本業務は、富士市環境マネジメントシステム（以下「EMS」という。）がマニュアルどおりに運用され、有効かつ妥当なものとなっているか確認することを目的として実施した。

## 2. 実施内容

**書類監査:**富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）対象所属の温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、施設に適用される法令等について監査を行い、現地監査を実施する所属の選定を行った。

**現地監査:**EMSが適正に運用されていることを確認し、特に省エネルギー及び関係法令等について詳細に確認を行った。

## 3. 実施対象

**書類確認対象:**地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）対象所属すべて

**現地監査対象:**9所属及び事務局

対象所属
吉原第三中学校
資産経営課
市民安全課
今泉小学校
蓼原保育園
病院総務課
ふじさんめっせ
丘まちづくりセンター
岩松幼稚園
環境総務課（富士市EMS事務局）

#### 4. 日程等

**書類監査:**令和7年10月8日(水)～10月14日(火)

**現地監査:**令和7年10月28日(火)、10月29日(水)の2日間

**監査人:**井上 隆夫 ・ 水口 渉

#### 令和7年度富士市環境マネジメントシステム環境監査日程表

日時		監査対象所属
10月28日(火)	9:35～10:55	吉原第三中学校
	11:20～11:50	資産経営課
	13:10～13:40	市民安全課
	14:00～15:20	今泉小学校
	15:40～17:00	蓼原保育園
10月29日(水)	9:00～9:30	病院総務課
	10:00～11:40	ふじさんめっせ
	13:20～14:40	丘まちづくりセンター
	15:10～16:30	岩松幼稚園
	16:50～17:30	環境総務課(富士市EMS事務局)

## 5. 実施結果

### (1)書類監査

省エネ効果が見込まれる施設や、環境法令等の適用数が多い施設から、これまでの環境監査実績及び部門ごとの偏りを考慮しながら、現地監査所属を9所属選定した。なお、選定は、以下の参考書類に基づき、富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）の対象となる施設の温室効果ガス、エネルギー使用量及び環境法令等の適用状況を確認し実施した。

#### 【参考書類】

富士市環境マネジメントシステムマニュアル【第3版】

令和6年度 令和7年度 目標一覧表

富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）

令和6年度 施設別温室効果ガス排出量一覧表

令和6年度 施設別エネルギー使用量一覧表

令和6年度 所属・施設別環境関連法令等遵守評価書

令和6年度 富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）実績報告

令和6年度 グリーン購入結果について

### (2)現地監査

#### 対象施設

吉原第三中学校、資産経営課、市民安全課、今泉小学校、蓼原保育園、病院総務課  
ふじさんめっせ、丘まちづくりセンター、岩松幼稚園、環境総務課（富士市EMS事務局）

① 吉原第三中学校	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数は338名、教職員は42名です。</li> <li>・EMSは概ね適切に運用されています。設定している管理標準については、職員全体への周知をさらに徹底することが重要です。</li> <li>・環境関連法規のうち、産業廃棄物に関する表示に一部不備が確認されたため、必要な是正対応をお願いします。</li> <li>・電気使用量および紙使用量の増加要因については、適切に原因分析が行われており、その分析に基づいた抑制・削減のための対策も講じられています。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境研修は上半期1回、下半期1回の計画で実施されています。上半期では、印刷物削減、裏面活用の推進、節電の周知、エアコンの利用方法の確認等を研修内容として取り組んでおり、研修時間も概ね30分と十分に確保されています。また、欠席者には参加者による伝達講習が実施されており、適切にフォローされています。</li> <li>・管理標準は自職場の設備に即した内容で作成されています。ただし、管理標準の理解度には改善の余地があり、職員全体への周知徹底が求められます。また、空調等の運転管理については、現場の状況に応じて随時見直しを行うことで、さらなる運用改善が期待できます。</li> <li>・エネルギー使用量については、電気使用量が大幅に増加しています。主な要因は新規空調設備の導入であり、一定程度はやむを得ない増加と考えられます。しかし、電気使用量の増加幅を抑制するためにも、日々の省エネ活動を継続することが重要です。なお、研修におけるエネルギー使用量等の確認・評価が現状では年1回にとどまっているため、半期または四半期ごとに達成状況の確認・評価を行うことを推奨します。</li> <li>・環境関連法規については概ね適切に遵守されています。ただし、産業廃棄物の表示に一部漏れがあったため、該当欄への追記が必要です。また、理科室で排出される廃アルカリ・廃酸については、産業廃棄物表示板の掲示が必要です。</li> <li>・理科準備室の薬品は整理整頓され、管理簿も適切に保管されており、適切に管理されていますが、使わない薬品がある場合、保管しているだけでリスクになるため、今後も定期的に確認の上、廃棄可能なものは廃棄していくようお願いします。また、製品安全データシート（SDS）についても、使用している薬品に記載漏れがないよう整備を進めてください。</li> <li>・紙使用量増加の要因については分析が行われ、具体的な対策も実施されています。今後は、外的要因と内的要因の区分を明確にし、対策を講じやすい項目から優先的に取り組むことが望まれます。</li> </ul>

## ②資産経営課

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員は23名で構成され、資産活用担当、管財担当およびファシリティマネジメント推進担当が配置されています。</li><li>・EMSは適切に運用されていることを確認しました。</li><li>・紙使用量削減に向けた積極的な環境取り組みが実施されています。また、今後のペーパーレス化に向けた具体的な検討も進められており、紙使用量削減に向けて大きな成果が期待できます。</li></ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修計画は年2回（5月および11月）実施されています。研修内容は、上半期では前年度実績の確認および今年度の取り組み方法の周知、下半期では上半期実績の確認および今年度の取り組み方法の確認となっており、欠席者へのフォローも適切に行われています。</li><li>・紙使用量削減に向けて、裏面利用、両面印刷の徹底、電子決裁の推進などの対策に職員全体で取り組んでいます。今後の取り組み目標として、指定管理者の評価委員会等で使用している紙資料のペーパーレス化を検討しており、実現すれば紙使用量削減にさらなる効果が期待されます。</li><li>・職員エコチェック表では、エコ指導員を中心に各項目へ積極的に取り組んでいる様子が平均点から確認できます。所見および評価も適切に実施されており、課内におけるPDCAサイクルが確立しています。離席時のシンククライアントの電源オフについて、他項目より平均点が低い傾向にあるため、今後も達成状況の継続的な確認をお願いします。</li><li>・当課で対象となる産業廃棄物は適切に管理されており、関連する環境法令についても遵守されていることを確認しました。</li></ul>

③市民安全課	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は19名で構成され、防犯交通安全活動、市民相談業務、消費生活センター業務を主な業務としています。</li> <li>・EMSは適切に運用されていることを確認しました。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画は年度初めに策定され、年3回、計画どおり対象者へ実施されています。研修内容は、富士市EMSの説明・周知、紙使用量等の前年度実績の確認、今年度の取り組み方法の周知、上半期実績の確認など幅広く、適切に実施されています。一方で、研修時間は10～30分とばらつきがあり、10～15分程度では実績確認で終わってしまうことが多く、理解を深めるには不十分と考えられます。紙使用量増加については原因分析が行われているため、その結果を踏まえ、必要に応じた是正処置の実施や確認・評価方法の見直しを行うことが、PDCAサイクルの観点から重要です。</li> <li>・紙使用量については、コロナ禍収束に伴う講座・講演会開催に起因する資料増加が主な要因とされています。外的要因による増加で対応が難しい面もありますが、実施可能な取り組みから優先して紙使用量削減に努めることが重要です。</li> <li>・エコチェック表の取り組み結果は高い評価となっており、職員の意識向上が図られていることが確認できます。一方で、エコ指導員および所属長の所見に示されているとおり、離席時のシンクライアントの電源オフや電子決裁利用による印刷物削減への取り組みが他項目より低い傾向にあるため、今後も達成状況の継続的な確認をお願いします。</li> </ul>

④今泉小学校	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数は528名、教職員数は58名です。</li> <li>・EMSは適切に運用されていることを確認しました。</li> <li>・児童による委員会が中心となり、ごみの始末、節電、節水の呼びかけを積極的に行っており、職員だけでなく学校全体で環境活動に取り組む姿勢が高く評価できます。</li> <li>・電気使用量等の増加要因については適切に原因分析が行われており、その結果に基づき抑制・削減に向けた対策が講じられています。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境研修は、上半期にごみの始末方法、印刷物削減、裏面活用の推進、節電やエアコン使用方法の確認、上半期の取り組み状況の振り返り及び成果・課題の共有などを実施しており、研修時間は30分確保されています。一方、下半期は研修時間が15分となっており、上半期同様に多岐にわたる内容（上半期取り組み状況の振り返り、成果・課題の共有、ごみの始末、節電・節水に関する児童への指導など）を盛り込んでいますが、15分では十分な研修内容を確保することは困難です。効果的なフィードバックを行うためにも、下半期も30分の研修時間を確保するようにしてください。</li> <li>・エネルギー使用量では電気使用量が大幅に増加しています。主な要因は新規空調設備の導入および給食室へのスポットクーラー増設によるもので、やむを得ない増加と考えられます。しかし、可能な限り増加を抑制するため、日常的な省エネへの取り組みを継続することが重要です。また、学校独自の取り組みとして、児童による委員会が主体となり、ごみの始末、節電、節水の呼びかけに積極的に取り組んでおり、学校全体で環境活動を推進している姿勢は高く評価できます。</li> <li>・蛍光灯を含む産業廃棄物については、管理票の発行および保管が適切に行われています。</li> <li>・フロン類簡易点検、廃棄物処理法、油水分離槽点検など、該当する環境関連法令は遵守されています。ただし、産業廃棄物の表示板が法定サイズを下回っていたため、法定サイズ以上のもの（60cm×60cm）への交換が必要です。また、少量危険物貯蔵庫の貯蔵数量表示が老朽化により判読しづらくなっているため、現状の数量に合わせた記載への更新が求められます。</li> <li>・管理標準は自職場の設備に即した内容で作成されており、職員への周知も適切に行われていることが確認できました。</li> <li>・理科準備室においては、薬品の整理整頓はされているものの、一部の薬品の使用管理簿への記載抜け及び薬品保管庫の表示が不明確となっていました。管理簿については、使用量及び在庫量の把握及び管理を徹底し、また劇毒物の表示については、明確に表示するようにしてください。なお安全データシート（SDS）については、使用している薬品に記載漏れがないよう整備をする必要があります。また、廃液タンクについては液だれ防止のため、トレイの設置が望まれます。</li> </ul>

⑤ 蓼原保育園	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児数は115名、教職員数は33名です。</li> <li>・EMSは問題なく適切に運用されていることを確認しました。</li> <li>・環境研修は年間 5 回の計画に基づき実施されており、内容も多岐にわたっていて、環境への取り組みとして有益な項目が提案・実施されています。総じて、非常に良い内容であると評価できます。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境研修は年5回計画され、計画どおり実施されています。研修内容は、電気・紙・水使用量削減の目標確認、廃材活用、ごみの出前講座、SDGsすごろくなど多岐にわたり、年間計画に適切に反映されています。研修時間も各回30分確保されており妥当です。また、職員間で意見交換が活発に行われており、環境への取り組みが幅広く展開されています。ただし、実績の確認・評価は行われているものの、是正対策の実施状況の評価が十分ではありません。確認・評価の際には是正対策の有無を検討することで、PDCAサイクルの一層の充実が期待できます。</li> <li>・設備管理標準は自職場の設備に即した内容で作成されており、職員への周知の上、適切に運用されていることが確認できました。</li> <li>・電気使用量は大幅に増加しています。主な要因は新規空調設備の導入および空調稼働時間の増加です。やむを得ない面はあるものの、可能な限り増加を抑制するため、日常的な省エネへの取り組みを継続することが重要です。</li> <li>・紙使用量削減については、保護者向けのお便りをアプリ配信へ移行したことで大幅な削減が実現しました。今後は紙ベースのアンケート類についてもアプリ化を進め、さらなる削減を図る予定です。また、電気や紙の資料量を半期ごとフィードバックする機会を設けてください。</li> <li>・対象となる環境関連法規は適切に遵守されていました。</li> <li>・環境上の緊急事態対策とは異なりますが、訓練は適切に行われています。またこれら現状の訓練と併せて、これまでに洪水被害はないものの、周辺に河川があるため、近年の大雨傾向を踏まえたリスクの再評価を推奨します。</li> <li>・グリーン購入については、主任が担当し、対象品目を職員に周知するなど適切に運用されています。</li> </ul>

⑥病院総務課	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は17名で構成され、富士市立中央病院内において総務、維持管理、新病院建設に関する業務を担当しています。</li> <li>・EMSは概ね適切に運用されていることを確認しました。</li> <li>・紙使用量の増加については原因分析が行われており、その結果に基づく削減対策も適切に講じられています。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに年間2回の研修を計画し、計画どおり対象者へ実施しています。研修時間は1回あたり概ね20～30分確保されており、職員への周知も適切に行われていますが、1回目は年度初めの時期の実施を検討してください。</li> <li>・紙使用量は前年比17.7%増と大幅に増加していますが、主な要因は新病院建設準備に伴う地域住民説明会や幹部会議用の資料の作成によるものと確認されています。また、電子化が可能な資料についてはペーパーレス化を進める方針も示されています。なお、新病院建設準備に関わる使用量を除いた場合、紙使用量はほぼ横ばいで推移しており、一時的な増加であると考えられます。</li> <li>・職員エコチェック表については、下半期のエコ指導員の所見および所属長の評価が未記載でした。取り組み項目の確認・評価を適切な時期に実施することはEMS運用において重要であるため、今後は漏れなく記載するとともに、平均点の低い項目については原因分析を行い、必要に応じて改善策を講じることが求められます。</li> </ul>

⑦ふじさんめっせ	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじさんめっせ共同事業体として、市職員および指定管理会社により施設運営が行われています。職員は6名在籍しており、大・小展示場をはじめとした各種施設が整備されています。年間来場者数は約12万人で、さまざまな催し物やイベントに広く活用されています。</li> <li>・電気使用量の増加要因については適切に原因分析が行われており、その結果に基づき抑制・削減に向けた対策が講じられています。</li> <li>・対象となる環境関連法規は適切に遵守されていることを確認しました。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市EMSとしての環境研修は実施されていませんが、月次で指定管理会社と職員間で打ち合わせや報告が行われ、施設管理に関する情報共有が図られています。富士市EMSとして、年間のエネルギー使用量等の実績評価（フィードバック）は指定管理会社職員を含む施設管理関係者全員が把握すべき内容であり、実績に対する確認・評価および見直しを共有する必要があります。今後は、PDCAサイクルにおける「C（確認・評価）」および「A（見直し）」を関係者全体で実施できる場（環境研修）の設置を推奨します。</li> <li>・富士市EMSとしての管理標準は作成されていませんが、指定管理会社が独自に作成した施設管理マニュアルがあり、管理標準として定めるべき内容はすべて網羅されています。また、マニュアルの職員への周知も適切に行われています。</li> <li>・エネルギー使用量では電気使用量が大幅に増加しています。主な要因は夏季の空調利用（稼働率）増加とされています。対応策として、空調の分散化の検討に加え、換気口の清掃やフィルター設置が実施されています。また、エントランス照明の間引きなど、電気使用量削減に向けた運用改善にも取り組んでいます。</li> <li>・業務用空調設備については、フロン排出抑制法に基づく簡易点検・定期点検が全設備で実施されていることを確認しました。</li> <li>・汚泥等が産業廃棄物として排出されており、処理・運搬業者との契約、許可証の確認、マニフェストの保管など、関連法令の遵守状況に問題はありませんでした。</li> <li>・環境上の緊急事態対策とは異なりますが、火災・漏水・停電等の対応マニュアルを整備の上、当該訓練を適切に行っています。またこれまで洪水被害は確認されていませんが、近年の大雨傾向を踏まえ、改めてリスク評価を行うことを推奨します。</li> </ul>

⑧丘まちづくりセンター	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は3名で運営されています(夜間休日等は別途、シルバー人材センターの職員3名がローテーションで対応)。</li> <li>・2002年の竣工以来、会議室、調理実習室、多目的室などの貸館事業を市民向けに提供しており、年間利用は1,838回、20,179名に達しています。</li> <li>・EMSは問題なく運用されていることを確認しました。</li> <li>・エネルギーは主に電気を使用しており、使用量は増加傾向にあります。適切に原因分析されています。削減に向けた対応策も講じられていますが、現状では十分とはいえないため、追加の節電対策を実施することでさらなる省エネ効果が期待できます。</li> <li>・管理標準については、対象設備が漏れなく記載されており、適切に作成・運用されていることを確認しました。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画は年度初めに策定され、年2回実施されている点は適切です。研修内容も①昨年度実績の確認と今年度の取り組み方法の周知、②上半期実績の確認と下半期の取り組み方法の周知と明確に整理されています。ただし、研修時間が各回10分では実績確認のみで終わってしまう可能性が高く、理解を深めるには不十分と考えられます。また、シルバー人材センター職員にも忘れずに周知をお願いします。電気使用量増加については、原因分析が行われているため、必要に応じて是正処置を講じ、PDCAサイクルの実効性を高めることが望まれます。</li> <li>・エネルギーは主に電気を使用しており、本年度の電気使用量は前年比10.4%増となっています。要因として、貸館業務の利用増に伴い施設利用者数が前年比28%増加したことが挙げられます。対策として、職員による空調温度調整や消灯確認を行っています。利用者が個別に調整できるため、掲示物の作成や口頭による節電意識の周知を強化することで、さらなる省エネ効果が期待できます。</li> <li>・裏面使用の徹底や申請書運用の効率化(従来は1件につき1枚印刷していたものを、CSV化により35件分を1枚に集約できるよう改善)により、紙使用量は前年比15.5%減となり、職場全体での取り組みの成果として評価できます。次年度以降も継続的な取り組みを期待します。</li> <li>・管理標準は自職場の設備に即した内容で作成されており、職員への周知と実施が確認できました。</li> <li>・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表に基づき整理されており、関連法令が適切に遵守されていることを確認しました。</li> <li>・環境上の緊急事態対策とは異なりますが、年2回避難訓練を実施しています。訓練後に計画どおり実施できたか、有効性を評価することで訓練の習熟度向上につながるため、今後は実施後の確認・評価を行うことを推奨します。</li> </ul>

⑨岩松幼稚園	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数13名(うち5名が短時間の会計年度任用職員)、園児数54名で運営されています。給食は基本的に作っていません。</li> <li>・EMSは効果的に運用されており、研修計画も充実しています。</li> <li>・電気使用量が増加傾向にありますが、日々のフィードバックを行っており、原因分析や是正処置等が適切に実施されています。</li> <li>・該当環境関連法令については、問題なく遵守されていることを確認しました。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画は年度初めに年間5回の計画を立て、計画どおり実施されています。内容は、昨年度実績と今年度方針および取り組みの確認、ゴミ分別、節水・節電の確認、プール実施時の対策、上半期の実績確認と下半期の取り組み方法の共有など多岐にわたっています。また、各研修は概ね30分の時間を設け、充実した内容で実施されていますので、短時間勤務の職員にも周知が行き渡るよう配慮してください。</li> <li>・電気使用量は増加傾向にありますが、研修を通じたフィードバックが適切に行われており、原因分析および是正措置が実施されています。施設内の照明の多くが蛍光灯であるため、予算が取れる範囲でLED化を進めることで使用量削減が期待できます。また、職員間で日頃から意見交換が行われており、充実したフィードバックが確認できました。EMSにおけるPDCAサイクルは機能しているため、今後も継続的改善に努めてください。</li> <li>・管理標準は給湯設備、業務用機器、空調設備、照明設備などを対象としており、必要な項目が盛り込まれています。内容は適切で、職員の理解度も高い水準にあります。</li> <li>・グリーン購入については、対象品目の購入を積極的に推進しており、担当者も明確に定められ、職員への周知も徹底されています。</li> <li>・環境関連法令については、「環境関連法令等遵守評価表」を作成し整理しており、該当法令が遵守されていることを確認しました。</li> <li>・環境上の緊急事態対策とは異なりますが、富士川の浸水想定区域に該当することから、地震災害に加えて洪水を想定した避難訓練を実施しています。訓練後に、計画どおり実施できたかを評価することで習熟度が向上するため、訓練後の確認・評価を行うことを推奨します。</li> </ul>

⑩環境総務課(富士市EMS事務局)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課および各施設において環境研修計画が作成・実施されていますが、EMSの継続的改善を効果的に進めるためには、内容の充実した研修を実施できるよう、十分な研修時間を確保することが求められます。</li> <li>・管理標準は自職場の設備に即した内容で作成され、適切に管理されています。次の段階として、職員全体への周知を徹底し、管理標準に対する理解度をさらに高めていくことが望まれます。</li> <li>・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表が作成され、適切に整理されています。ただし、廃棄物処理法に基づく廃棄物保管場所の掲示板設置が確認できなかった事例があるため、早急な対応が必要です。</li> </ul>
所見&提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課および各施設における環境研修計画では、年間の環境研修計画が作成され、計画に基づいた研修が実施されています。また、研修の実施状況についても、環境研修実施記録簿から適切な内容で行われていることが確認できました。ただし、研修時間には課や施設ごとにばらつきがあり、10分程度と短時間で実施されているケースでは、十分な内容の研修が行われたか疑問が残ります。この点につきましては、近年監査報告として指摘してきた内容となりますが、改善されていません。EMSとして効果的な継続的改善を図るためには、テーマに対する確認・評価・見直しに必要な時間を確保することが必要不可欠です。環境研修が形骸化しないよう、EMS事務局より、各部署へ今一度、環境研修の意義及び内容のある研修実施の周知をお願いします。また、所属年間計画についても、研修のなかで取り上げ、課内で掲示することが効果的です。</li> <li>・管理標準については、監査対象となるすべての施設で自職場の設備に即した内容が作成されており、前年の監査から改善が見られました。ただし、管理標準に対する理解度については不十分な面があります。管理標準は作成するだけでは意味がなく、それらを日々運用する職員がしっかりと把握・理解した上で、管理標準に則った運用をしていくことで初めて意味をなします。職員全体への周知の徹底が必要です。現在、各所属から事務局へ管理標準の提出を不要としています。各所属におけるエネルギー使用設備の運用管理・取り扱い方法（運転停止タイミング、設定、点検、手入れ、異常時の対応等）に応じた修正がされているか、確認することが望ましいです。</li> <li>・環境関連法令については、環境関連法令等遵守評価表が作成され、適切に取りまとめられています。特に、フロン排出抑制法に基づく簡易点検については、いずれの対象施設でも良好に実施されていました。近年、空調設備の更新や新設が進んでいるため、対象設備の漏れがないよう引き続き注意が必要です。一方、廃棄物処理法に基づく廃棄物保管場所の掲示板については、設置確認が取れないケースがあり、他施設でも同様の懸念があるため、水平展開による周知と対応が求められます。</li> </ul>

- ・職員エコチェックについては、平均点が停滞している状況を受け、今年度から集計を廃止し掲示板で毎月の重点項目を周知していますが、フィードバックを得られる体制を新たに整えるまたは、エコ指導員から職員への周知が適切に行われているかについて確認をお願いします。
- ・各課および各施設におけるエネルギー使用量増加要因として、新規空調設備の導入や施設利用者の増加など、外的な増加を挙げられるケースが多く見受けられました。これらは一定程度やむを得ない増加と考えられますが、エネルギー使用量の増加幅を抑制するためにも、日々の省エネ活動と継続的な啓発が重要ですので、事務局より周知をお願いします。

## 総括

### 1. 優良事例について

- ・ 蓼原保育園および岩松幼稚園では、電気使用量が増加傾向にあるものの、独創的な環境研修を取り入れながら充実した研修計画に基づくフィードバックが実施され、原因分析および是正処置が適切に行われています。職員間の日常的な意見交換も活発であり、EMSのPDCAサイクルが良好に機能していることが確認できました。
- ・ 紙使用量の削減については、各課および各施設で積極的な取り組みが確認され、大幅な削減を達成した所属も多数ありました。職員への意識付けが定着してきていると評価できます。

### 2. 環境研修計画について

- ・ 各課および各施設で年間の環境研修計画が策定され、環境研修実施記録簿からも適切に実施されていることが確認できました。一方で、研修時間には所属ごとの差があり、10分程度と短時間で実施されている事例も見受けられました。この場合、有意義な研修が実施されたか疑問が残ります。EMSによる継続的改善を効果的に進めるためには、テーマの確認・評価・見直しに必要な時間を確保することが重要です。

### 3. 管理標準について

- ・ 管理標準は全施設で自職場の設備に即した形で作成されており、前年と比較して改善が見られました。ただし、管理標準に対する理解度には改善の余地があり、全職員への周知徹底と理解度向上が求められます。
- ・ 各所属から事務局へ管理標準の提出を不要としていますが、各所属におけるエネルギー使用設備の運用管理・取り扱い方法（運転停止タイミング、設定、点検、手入れ、異常時の対応等）に応じた修正がされているか、確認することが望ましいです。

### 4. 環境関連法規について

- ・ 環境関連法令等遵守評価表は適切に作成され、整理されていることを確認しました。特に、フロン排出抑制法の簡易点検記録は全施設で良好に実施されています。近年は空調設備の更新や新規導入が進んでいるため、点検対象設備の漏れがないよう引き続き注意が必要です。
- ・ 一方で、廃棄物処理法に基づく廃棄物保管場所の掲示板が確認できないケースがありました。他施設でも同様の状況が想定されるため、水平展開による周知と指摘事項の共有をお願いします。

### 5. エネルギー使用量増加について

- ・ 各課および各施設におけるエネルギー使用量増加要因として、新規空調設備の導入や施設利用者の増加など、外的な増加を挙げられるケースが多く見受けられました。これらは一定程度やむを得ない増加と考えられますが、エネルギー使用量の増加幅を抑制するためにも、日々の省エネ活動と継続的な啓発が重要です。